

2024-25 RIテーマ

ロータリーのマジック



WEEKLY

Rotary

Club of Toyohashi

RI D2760



2024-25 クラブテーマ

集い、学び、そして実践してこそロータリー  
～奉仕の受け手と喜びを分かち合おう～

## 合同例会 (豊橋RC・豊橋北RC)

## ガバナー公式訪問

理事会担当

## ガバナースピーチ

吉川 公章 ガバナー



今年度のRIのテーマは「ロータリーのマジック」です。全ての奉仕活動がロータリーのマジックになります。豊橋北RC、豊橋RC共に日頃から素晴らしい奉仕活動がされていますが、それをする側も、受け取る側も素晴らしい感動を覚え、帰属意識を高めることに繋がります。RI会長のイニシアチブは会員増強です。会員増強は全てのロータリークラブでの最大の課題となっています。

クラブの体験を魅力的なものにすることは、ロータリーの強さを維持するために大切です。ロータリーは元々、平和構築という基盤の基につくられた組織です。組織的な平和を通して、分断された世界を癒やすことは重要なことだと思います。残念なことに、ガザでポリオが確認されてしまいました。現在分断された世の中で、この様なことが起きています。その時に私たちに何ができるか考えたいと思います。

全てのロータリーの活動は、継続性と変化のバランスの中にあります。前任者や後任者と協力することで、クラブが取り組んできたことや、今までクラブに根付いていたことに目を向けることも大切だと思います。

会員増強について、コロナの影響で会員数が大きく減ってしまいました。コロナ禍が明けたらあつという間に元に戻るだろうと思っていましたが、残念なことに現在も会員数は少しずつ減っています。国際ロータリー自体で120万人いると言われていたロータリアンが、113万人となっています。6月から7月は会員が増える時期ですが、以前の120万人には及ばず、昨年度と比べても2万人程減ってしまっています。ロータリアンの数だけで地区の価値を評価するのは難しいことですが、当地区は全国で最大のロータリアンの数を誇っていました。しかし、残念なことに本年の6月に東京の2750地区に負けてしまいました。また7月のデータでどうなっているか、ロータリーの友に数が掲載されているので逐次見ていきたいと思っています。

今年度の2760地区の方針について、クラブの活動が全てだと思っています。魅力あるクラブ、持続可能な奉仕活動を行うことでクラブや会員の成長に繋がります。行動計画・四つの優先事項に沿って戦略計画を立てるこ

とを今年度の地区方針とさせていただきます。

少子高齢化は東三河地区だけでなく全国共通の課題です。働き手が少なくなっている社会の中で、ロータリークラブは今後どうすれば良いでしょうか。全ての組織は変革が必要だと思います。そのためには誰が見ても魅力的なクラブにすることが大切です。もちろんロータリーには「四つのテスト」や「中核的価値観」という基本的な考えがあります。これを忘れてしまってはロータリーは始まりません。国際ロータリーで職業奉仕の委員会がなくなりましたが、職業奉仕自体がなくなってしまった訳ではありません。我々は職業人の集まりなので、根幹に職業に対する考え方を持つことでロータリーの奉仕活動が始まるということは、どんなに改革されても変わらないと私自身は確信しています。

しかし、変えなければいけないところも多くあります。アーチック会長のスピーチで「Simply irresistible」という言葉が出てきます。これを日本語に訳すことは大変難しいですが、直訳すると「抗えない魅力」となります。誰からも抗えない魅力のあるクラブにしてくださいということだと思います。「抗えない魅力」とは経験が魅力的で、楽しく活気に満ちているということだと思います。我々が奉仕をすることによって「ロータリーにいて良かった」という価値観が生まれてきます。引きつけられたら人は離れなくなります。

最近DEIの考え方が広く普及しています。DEIを基盤とし、帰属意識に焦点を当てるのが極めて大切です。共通の目的のために人々は結束しやすくなります。本日の会場の入り口に「入って学び出でて奉仕せよ」というロータリーの格言がありました。まさにこのことです。昔からの格言とどこも変わらないと思っています。



ロータリーは2018年にビジョンを提唱しました。これは、今後の100年のためにロータリーがあるべき姿を示しています。これを実現するために2019年から「四つの優先事項」が実行されています。クラブで将来あるべき姿を立案する時、四つの優先事項に沿っていることがロータリーの願いです。こうすることでロータリー自体が大きく発展します。これは五力年計画の予定でしたが、コロナで世界が混乱している時期だったため、今回新たに四つの優先事項を推進することがロータリーの基本路線となっています。このために、地区の行動計画推進リーダーを決めることをR1からお願いされています。また、各クラブでも行動計画推進リーダーの選出もお願いしたいと思います。両クラブとも戦略計画委員会がしっかりと機能していると思うので、戦略計画委員長が適任ではないかと考えています。

またこういった計画を立てる際に「3年間の目標」を立てることをお願いしています。単年度の計画から中期計画を作成し、継続的な文化を生んでくださいとしており、今までの定性的なことから数値的なことに切り替えてくださいということになります。これは本当に新しいロータリーのチャレンジだと思います。

クラブの会員増強について、今までと同じ様にポイントで勧誘することは難しくなってきました。新たな会員を迎える際はDEIの精神を持ち、新たな奉仕の精神に満ちあふれた素晴らしい方を迎えていただきたいと思えます。そのためにクラブの別グループとして「衛星クラブ」という制度があります。これはスポンサークラブとは別に例会を行うことができるので、会費や例会のきまりは独自に設定することができます。世界には、音楽家のグループや製薬会社のCEOだけが集まったグループもあるそうです。衛星クラブのメンバーはスポンサークラブの正会員となるため会員増強に役立つと思えます。

ポリオについて先ほどもお話ししましたが、世界で紛争が起きている時に、私たちは何もなくてよいのでしょうか。何もできないかもしれませんが、何か行動すべきだと思います。どうかポリオプラスに寄付をしていただきたいと思えます。財団は勝手に動いているわけではありません。世界中の平和構築のために使われている基金ですので皆さまの協力をお願いいたします。



## 歓迎の挨拶

豊橋RC 紅林友昭 会長



豊橋RCは来年8月10日に創立75周年を迎えます。75周年のメインテーマは「集いて図る心はひとつ」と決まり、地域奉仕部門と寄付部門それぞれ4つの事業を行います。

地域奉仕部門の1つ目は、「ほっとらむ」のラッピング広告、豊橋駅前の懸垂幕、豊橋市役所のモニターへPRの掲出。2つ目は、豊橋市内全小学校へのペットボトルキャップ回収のお願い。3つ目は、ポリオ根絶をデザインしたオリジナル切手の販売。4つ目は、市内の小学校に対して各方面で活躍されている講師に「壁を乗り越える心を持つことの大切さや夢の叶え方」についての実技・講演をお願いする「夢ギフト講演」を行います。

寄付部門は、豊橋市への「牛川の渡し」の案内看板とAEDの寄贈、ロータリー財団への寄付、米山奨学会への寄付、青少年の健全育成のための寄付「昌学会基金」の設立の4つからなります。

これら二つの部門からなる75周年記念事業は、ロータリーの行動計画の中の四つの優先事項の全てに合致し、国際ロータリーの豊橋RCの公共イメージ向上に大いに寄与するものと考えています。

吉川ガバナーには本日のスピーチでロータリーの最新の情報を中心に多岐に渡りご指導をいただけるものと思えますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 歓迎の挨拶

豊橋北RC 八木基之 会長



私たち豊橋北RCは今年度68年目を迎えます。豊橋北RCの今年度のクラブテーマは「親睦の和を育み、奉仕の輪を広げよう」です。会員一人ひとりが居心地の良さを感じられるような

雰囲気作りを心掛けてクラブの団結力を高め、積極的に奉仕活動に関わることを目指したいと思えます。そして、70周年に向けての基礎固めの年と捉え、会員の絆を深めて内部の充実を図っていききたいと思えます。

話は変わりますが、先月平均寿命に関するデータが厚生労働省から発表されました。それによると、昨年の平均寿命は男性で81.09歳、女性が87.14歳だったそうです。また、90歳まで生存される方の割合は、男性26%、女性50.1%だそうです。つまり、男性の4人に1人、女性の2人に1人は90歳を迎えているということです。この平均寿命に対して、健康寿命というものがあります。これは、健康上の理由で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことを指しています。2019年のデータでは男性は約73歳、女性は約75歳でした。人生100年時代と言われる現在ですが、いつまでも元気に過ごすためには健康寿命を伸ばすことが大切です。そうすることで、長くロータリーを続けることができ、社会に寄与できます。個人的にも健康寿命を延ばすように努力をして、今後の人生を楽しみたいと思えます。

## ガバナー紹介

豊橋RC 村井 総一郎 PG



吉川ガバナーは、昭和26年のお生まれで、社会医療法人宏潤会大同病院の相談役・名誉理事長を務められています。2008年に名古屋南RCへ入会され、その後はクラブや地区の要職を務め、今年度はガバナーとしてご活躍されています。2018-2019年度にはクラブの会長を務められ、私がガバナー訪問で名古屋南RCを訪れた際に会長として迎えていただいたという縁があります。吉川ガバナーとは他にも浅からぬ縁がありますが、非常に柔らかい口調で温厚な方という印象です。ロータリー知識も大変豊富です。また、アメリカでの国際協議会を経験されたことにより、優しい口調の中に熱がこもるようになり、本日はその様なお話が聞けることを楽しみにしています。

## 歓迎の挨拶・乾杯

豊橋北RC 山内 有恒 2022-23年度ガバナー補佐



今年度のガバナー公式訪問は今週から始まり、本日は二箇所目の訪問だそうです。また、東三河分区の中で一番に訪問していただきました。大変光栄に思います。本日は豊橋RC、豊橋北RCの合同例会で、吉川ガバナーから地区の方針を直接伺える貴重な機会であると共に、東三河の中で一番に訪れていただいた思いもお伝えいただけるのではないかと期待しています。会員一同大変楽しみにしていますので、よろしくお願いいたします。

それでは、吉川ガバナーのご来訪を祝し、そして国際ロータリー2760地区が吉川ガバナーのもと一層大きな成長を遂げることを祈念いたしまして、乾杯。

## ポリオ寄付のお願い

豊橋RC 福井 敬 R財団委員長

ステファニーA.アーチックRI会長はポリオ根絶を最優先事項としており、吉川ガバナーの地区方針にも「ポリオ根絶は地区の皆さんの力を結集することが必要だ」と明記されています。また、私たちの寄付に対して、ビル&メリнда・ゲイツ財団が引き続き2倍の額を上乗せしてくれますが、それを達成するためには年次募金目標である5,000万ドルが必要となります。そのため本日のガバナー公式訪問の機会をさせていただき、会場でポリオ根絶のための寄附を募らせていただきたいと思います。皆さまのご協力をお願いいたします。

## 会長報告

紅林 友昭 会長

ございません。

## 幹事報告

青木 良浩 幹事

豊橋RAC50周年記念事業「表浜海岸清掃」(合同事業)についてご案内します。

開催日 9月14日(土)、15日(日)

場所 場所赤羽根市民センター、  
江比間野外教育センター青年の家

## ニコニコBOX

松岡 真由美 ニコニコ委員長

- 本日はよろしくお願いいたします  
吉川 公章 ガバナー 片桐 満 地区幹事
- 吉川ガバナー、片桐地区幹事、ようこそ豊橋ロータリーへ。ご指導宜しくお願い致します  
紅林 友昭 会長 青木 良浩 幹事
- 吉川ガバナーようこそ豊橋RCへ。今日は吉川さんの紹介をさせていただきます  
村井 総一郎 PG
- 吉川ガバナー、片桐地区幹事、ようこそ豊橋RCへお越し下さいました  
高山 景一 地区財団委員長 神野 紀郎 歴代地区幹事  
佐々木 利政 歴代地区幹事 大塩 啓太郎 会員
- 1983年、森泰樹S.A.A.由来のコスチュームを着用させていただきました  
高須 博久 S.A.A.  
(順不同)



## 歌

ソングリーダー 福井 敬 会員

「われは海の子」

## 本日のゲスト

ガバナー 吉川 公章 様 (名古屋南RC)  
地区幹事 片桐 満 様 (名古屋南RC)  
東愛知新聞社 山田 一晶 様  
東海日日新聞社 大林 恭子 様

## 出席報告

豊橋RC 長濱 貴彦 出席委員会委員長

当日出席者 68名 計算会員数 91名中23名欠席  
総会員数 106名 出席率 74.73%

## 理事会予定

### 第3回理事会

9月5日(木) 13:40 4F ザ・テラスルーム

## 例会予定

### 次回のプログラム

8月29日(木) インターアクトアワー

- 9月5日(木) ロータリーの友月間にちなんで
- 9月12日(木) 社会奉仕について
- 9月19日(木) 休会

写真・音声の視聴はこちらから▶

事務局：豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内

